

Before

これまでは防火扉に「防火扉を動かすと、火災報知機が発報します」と小さい字で表示されていただけだった。間違って防火扉を動かしてしまうと、自動的に火災報知機が発報し、【非常編成】が発令される。この防火扉のシステムを知っている従業員は少なく、うっかり動かすと火災報知機が発報して大ごとになる可能性があった。



受賞作

After

扉のノブ部分をくり抜き、注意のピクトサインとかなり怖いイメージのフォント(文字体)を使用して注意喚起した。この文字を見た社員からは「この文字が怖い」という反応もあり、うっかり触ることもなく、狙い通りの表示となった。

安全表示で

人づくり

ビーポップを活用した安全活動事例

第7回

富士石油株式会社【袖ヶ浦製油所】

会社概要

●本社 所在地:東京都品川区 ●製油所 所在地:千葉県袖ヶ浦市 ●本社 設立:1964年
●製油所操業開始:1968年 ●従業員数:504名 ●主な事業内容:原油の輸入、石油の精製ならびに石油製品および石油化学基礎製品の製造、加工、貯蔵、輸出入および売買等

怖いフォントで注目度がアップ 社内コミュニケーションも活性化

富士石油(株)では、中東など世界各国から原油を輸入し、先進の技術と設備によりさまざまな製品へと精製しています。なかでも袖ヶ浦製油所では、原油タンクをはじめとして、わが国トップレベルの設備を備え、輸入から精製、ブレンド、出荷までを一貫して行い、ガソリンや灯油など、私たちの暮らしになくてはならない石油製品を生産しています。

生産現場が24時間体制で稼働している同製油所では、安全衛生活動に大変力を入れています。昨年はその一環として、危険箇所をチェックすることでオリジナルの安全表示を考案。第3回「人づくりコンテスト」に応募し、見事に入賞しました。

そこで今回は石塚副所長兼製造部長、安全環境部の浅井部長、K Y推進リーダーの橋谷田さん、同じくK Y推進リーダーで実際にビーポップを使われている柳川さんと同製油所の安全衛生活動と、人づくりコンテストへの取り組みについてお話を伺いました。

装置に触れることがない事務職も動員しあらゆる角度から総点検

同製油所では安全対策の柱のひとつとして、製油所長以下社員全員による装置の安全・点検を毎月1回行ってきました。この活動は、事務職なども全員参加して安全チェックを行うことから、サッカーなどでゴールキーパーを含めた全員で攻撃することになんて、「パワープレイ総点

検」と名付けられています。2011年から100回以上行われてきた重要な活動で、点検する装置の運転に直接関わらない社員が違った視点で点検することにより、運転員では見過ごしてしまう可能性のある状態等を抽出し、対処するというもの。「現在はコロナ禍のため、時間をずらしながらも各所の清掃などを継続しています」と浅井さん。

また、同製油所ではK Y活動も重視してきました。「中防災のK Y活動をベースに行ってきたのですが、2019年4月からは独自に策定した* F O C式を開始しました。これはK Y活動を更にきめ細かく行えるように、当社の実情に即したものと進化させた取り組みです。実際に活動を行った際に、あまり訓練が行き届いていない従業員は見えていればわかるのですが、F O C式を導入してからそういった従業員は減っており、現場からも取り組みやすいという声が上がっています」と、橋谷田さんと柳川さんは独自のK Y活動に手応えを感じています。

人づくりコンテストへの参加が社内コミュニケーションを活性化

「昨年、社内の安全表示を見直すため、危険箇所がないか点検巡視したところ、数多く見つかりました。その中でも防火扉は表示が小さく目立たなかったため、どうやって注目してもらうかについて議論した結果、生み出されたのが今回の作品で



富士石油(株) 袖ヶ浦製油所のみなさん
撮影のため、一時的にマスクを外していただきました

※富士石油株式会社の略称

す」と柳川さん。実はビーポップを操作するパソコンには、怖いフォントがなかったため、新たにソフトを購入してフォントを使えるようにしたそうです。パソコンにフォントが搭載されていれば、自由に表示が作れるのも魅力だと柳川さんは言います。

また、人づくりコンテストへの取り組みについて石塚さんは「当社の社員構成は大きく若手とベテランに分かれているため、両者のコミュニケーションに心を砕いてきましたが、オリジナルの安全表示についてみんなで考えることで、自然にコミュニケーションが図れるきっかけになったと思います」と、思わぬ副産物があったことを教えて下さいました。みなさまのお話から安全表示にはさまざまな効果や影響があることをうかがい知ることができました。



▲新型コロナへの感染対策として、玄関から受付に至るまでビーポップで出力した足跡マークを貼り付け、自然に検温と消毒を行える導線を作り出した。

お問い合わせ

マックス株式会社

オフィスプロダクツ営業部

安全表示・人づくりコンテスト事務局

人づくりコンテスト

検索

TEL:03-3669-8108(代) Mail:anzen@max-ltd.co.jp